
スマブラ×ゲームキャラ、アニメキャラ逃走中 『ローゼンガーデン編』

竜斗

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スマブラ×ゲームキャラ、アニメキャラ逃走中『ローゼンガ

デン編』

【ZINEID】

Z8541Y

【作者名】

竜斗

【あらすじ】

第3弾スマブラ×ゲームキャラ、アニメキャラ逃走中がついに始
ました・・・。舞台は『ローゼンガーデン』。この静かなる庭で逃
走劇の幕を上げる!果たして、逃げ切る者は、誰だ!?

逃走者紹介（前書き）

まずは、逃走者紹介・・・。

逃走者紹介

新参戦の方々

プリキュアシリーズ（6）

北条響

明るく少しおっちょこちよい性格だが、
誰よりも負けず嫌い。

曲がったことが大嫌いで正義感も人一倍強い。
ミッションには積極的。足は速い。

美々野くるみ

可愛らしい外見とは裏腹に打算的かつしたたかな性格。
口調とナツツを心の底から尊敬しているため、王国や「口、
ナツツへの不敬や冒涜を許さない強い信念を持つ。
ミッションには絶対に行かない。足は遅い。

九条ひかり

優しく謙虚でやや引っ込み思案。一見大人しそうだが芯は強く、
口調も常に丁寧であるが、時折気品に満ちた口調になることもある。
周囲の行動に対しても苦笑する所が多い。
ミッションには積極的。足は結構遅い。

来海えりか

感情によって表情が非常に激しく変化するムードメーカー的存在。元気一杯なお節介焼きで、その行動力で相手を強引に引っ張ることが多い。

基本的に前向きで明るいマイペースな性格だが、落ち込むことが多い。

ミッションにはあまり行かない。足は結構遅い。

月影ゆり

聰明かつ物静かな性格。非常に大人びており、ミステリアスな雰囲気を醸し出している。ももかの数少ない友達で、モデルの仕事で授業を欠席しがちなももかのためにノートの写しを渡したり、一緒に弁当を食べたりと、色々と気遣いを見せる。ミッションには積極的。足は遅い。

山吹祈里

おつとりとした性格でのんびり屋だが、自分に自信が持てず、少々引っ込み思案な所がある。そんな内向的な自分を変えようと、ラブ達の結成したダンスユニットに参加することを決意した。ミッションには積極的。足は遅い。

魔法少女リリカルなのはStrikers(2)

クロノ・ハラオウン

クールで無口、かつ生真面目と人当たりのきつい性格だが、

エイミィの寝癖が気になつて直してあげるなどお茶目な一面もある。正義感が非常に強く、たとえ理に適つていても自分の信念に反すれば突っぱねる強さ、熱血さを持つ。

ミッションには時々行く。足は結構速い。

シャリオ・フィーノ

眼鏡をかけた少女。なのはたちと交流がある。フュイトをもつて「シャーリーの辞書に人見知りの字はない」と言わしめるほどの社交性と人なつっこさを持つ性格で、フェイトの補佐として次元世界中を飛び回つたこともあつて多方面に顔が広い。ミッションには積極的。足は遅い。

再参戦の方々

スマブラ×

マリオ

ラテン系統らしく陽気で活発な雰囲気を醸し出すようになつておる、陽気、友好的、正義感が強い、身体能力が高い、有名人、オールラウンダーといったヒーローキャラクターとしての普遍的なイメージが少なからず出されている。

ミッションにはあまり行かない。足は速い。

オリマー

ホコタテ星という惑星の運送会社「ホコタテ運送」に宇宙船のドライバーとして勤務する男性。小型貨物から宇宙資源まであまざまな物資の運搬を頼まれ、宇宙航海士としては確かな腕を持つ。

ミッションには時々行く。足は結構遅い。

レッド

マサラタウンに住む少年。

ゼニガメ、フジギソウ、リザードンが手持ち。前回で早く確保されてる為、今回の逃走中で汚名返上したいらしい。ミッションには時々行く。足は結構遅い。

前回から引継ぎ

ふよふよっこ（2）

アルル・ナジヤ

怖いもの知らずで、単体でも冒険に出る事も多い。男勝りと思われがちだが、

実はそうでもなく、至って天真爛漫な女の子である。少々ワガママで周りを見ないことも多い無責任な所もあるが、憎めない。ミッションには積極的。足はかなり速い。

シェゾ・ウイグイイ

闇の剣を携え古代魔導を操る魔導師の青年。

暗闇を誰よりも愛する「闇の魔導師」の称号を持つ。

他者から力を奪い、それを自らの物として己を高めている。
ミッションには時々行く。足は結構速い。

スマブラ×

トゥーンリンク

プロロ島出身の毒舌家の少年。性格は明るく活発で優しく、勇気もあるが、少々おとぼけな一面もある。妹アリルと祖母の3人で平和に暮らしていたが、ある日アリルが怪鳥ジークロックによって攫われたため、妹を助け出す旅に出る。ミッションには時々行く。足はかなり速い。

カービィ

自由気までのんびり屋。

風の吹くまま気の向くままに行動する。天真爛漫で純粋無垢だが、自分で決めたことは絶対に変えない部分がある。
ミッションにはあまり行かない。足は結構遅い。

ドンキー・コング

多少短気で強引なところがあるが、それは単に幼稚な面があるだけで本人は悪気はない。ドジで頼りないところもあるため、よくクランキー・コングからは説教されており、クランキーを怒らせて TNT バレル

（要は爆弾）を投げつけられるなど、初期からこのような扱いだつ

た。

ミッションには時々行く。足は結構速い。

ピット

正義感が強く、パルテナへの忠誠心も篤いが、年齢相応のやんちゃで自信家な性格となっている。また、パルテナへは忠実な一方で、彼女が時折見せるいい加減な面には着いて行けず、頭を抱えている様子も垣間見せる。

ミッションには積極的。足は速い。

Mr.ゲーム&ウォッチ

歴史としてはマリオよりも古い、任天堂の最古のゲームキャラクターの一人。

ゲーム&ウォッチの作品で主に操作キャラクターとして登場した。

ゲーム&ウォッチが電子ゲームであつたため真っ黒なシルエットのような姿。

ミッションには積極的。足は速い。

ヨッシー

平和を好む温厚な種族であり、マリオの良きパートナーとして活躍することが多い。ヨースター島、恐竜ランド、ヨッシーアイランド、ジャンボル島、ドルピック島などに生息する。ミッションには積極的。足は速い。

魔法少女リリカルなのはStrikers(3)

シグナム

「ヴォルケンリッター」の将。生真面目で実直、
騎士道精神を持つ武人。基本的にはタメ口だが家族として
接するはやてや目上の者などに對しては常に敬語を崩さない。
ミッションには積極的。足は結構速い。

ヴィータ

騎士たちの中では外見や精神も幼く、
常に勝気で自由奔放に振舞うが、
芯は強く根は優しい少女。
ミッションには絶対に行かない。足は遅い。

シャマル

金髪のおつとりした優しげな美人。ドジで少々頼りない面が目立ち、
周囲の一言でむくれたり、拗ねたりするなどシグナムや
自分より幼いはずのヴィータに比べ、顔立ちや性格などどこか幼い
感じがある。

ミッションには時々行く。足は遅い。

逃走者紹介（後書き）

次回、始まりの前に・・・。

逃走劇の説明（前書き）

始まりの前に、説明・・・。

逃走劇の説明

舞台は『ローゼンガーデン』。

そう、ここは静かなる大きな庭。

更にこの庭には大きな王国が立っている・・・。

この狭いエリアで逃げ切る者はいるのか！？

更に、ゲーム時間90分間での逃走劇が上げられる。
この22人の内、誰が逃走成功出来るのか！？

賞金は108万。

果たして、賞金を手に入れる者は誰だ！？

また、更に、自首も出来る。

自首は、各エリアの電話ボックスで自首を報告すれば
それまでの時点での賞金を獲得できる。

各エリアは

『ウォーターガーデン』、『ゴールドガーデン』、『スターガーデン』、

『ブルーガーデン』、『スカーレットガーデン』、『ストロベリー

ガーデン』、

『スノーガーデン』、『クリスタルガーデン』の8つのエリア。
逃走者達は、この8つのエリアで逃げ回る……。

果たして、誰が逃げ切る……？

逃走劇の説明（後書き）

果たして、誰が逃げ切る・・・！？

オープニングゲーム（前書き）

つっこ、始まる・・・！

オープニングゲーム

「ここは多くの『ドール』で賑わう深夜の大きな庭……。

そう、ここで22人の逃走劇の幕を上げる……！

彼等の目の前には、ボックスに入っている4体のハンターが……。

彼等はこのオープニングゲームに挑む……。

その時、甲高い声が聞こえてきた……。

『これより、ゲームを始める。

君達の目の前にいるハンター達は、ボックスの中に閉じ込められている。

1人ずつサイコロを振り、出た「サイコロの目」に応じてハンターボックスが前進する。振る者とボックスの間は1mごとに区切られており、全員で、22マス以上前進させればクリア。スタートエリアから解放され、1分の間にハンターから逃げられる。

ただし、サイコロの1面には「ハンターの目」

この目が出ると、その瞬間、ゲームがスタートする。ハンターが解き放たれ、目の前の逃走者に襲い掛かる。

』

全員

「いいっせーのーでー！」

全員がくじを一斉に引いた。・・・。

祈里

「ボクは16番だ・・・」

シエゾ

あつ、最後に近い・・・！21番！」

讐

2番～！？」

ヴィータ

「あたしは22番・・・！最後だ！絶対に回つて来ねえぞ！」

ベッド

「嘘だろ～！？3番・・・！？」

サイコロを転がす順番はくじ引きで決められる。全ては運任せだ・・

•

1番目は、山吹祈里・・・。

プリキュアメンバー、最初にここに立つ・・・。

祈里

「うわあ、緊張するよ・・・」

祈里、緊張している・・・。

マリオ

「緊張するな・・・！大丈夫、転がすんだ！」

シグナム

「大丈夫だ・・・！」

祈里

「そうでしたね・・・じゃあ、転がします！..」

祈里はサイコロを構える。

祈里

「それっ！！」　　ポイッ

ガランガラン、ゴロゴロ・・・。

レッド

「いきなりハズレは絶対にない・・・・・！」

シャリオ

「そうですね・・・・・いきなりは・・・・・！」

マリオ

「いい数字出でくれ・・・・・！」

クロノ

「緊張する・・・・・！」

サイコロが、止まつた・・・・。

出た田は、『4』だ・・・・。

祈里

「良かつた・・・・！良いい数字です・・・・！」

山吹祈里 クリア

ドンキー

「いきなり4が出るとほ・・・・・！」

トウーン

「あいつ、結構運がいい方だよな・・・・・！」

目の数字は4。ハンター ボックス4マス前進・・・・・
クリアまで残り18マス・・・・。

ウォッチ

「ツテ、結構近ヅキマシタネ・・・!」

ピット

「うわあ、近づくだけでめっちゃ怖い・・・!」

ハンター ボックスに怯える、逃走者達・・・。

ヴィータ

「誰か出して捕まれ・・・!」

くるみ

「誰でもいいから出して・・・! そうしないとゲーム始まんない!」

この2人は、一刻も早く出して欲しい様だ・・・。

2番目は、北条響・・・。

響

「あたしの出番早いな〜・・・」

プリキュアメンバー、またここに立つ・・・。

レッド

「早く投げてくれ・・・! そりしないと・・・」

響

「勿論よレッヂー今投げるわー！」

ヴィータ

「もう出して捕まつちまえー！」

響

「何言つてんのよ……あたしがここで出すわけないじゃないー！」

響はサイコロを構える。

響

「もつ、鬼に角投げるわよ！それつ！」　　ポイツ

ガランガラン、ガロガロ……。

くるみ

「ハンターの目の可能性が高いわね……！」

ドンキー

「緊張する……！」

ミッキー

「もう、誰でもいいですから鬼の数字出して下れこ……！」

サイコロが、止まった……。

出た田は、『3』だ……。

響

「やつたーーー！」

北条響 クリア

ひかり

「良い数字がまた出ました・・・・！」

えりか

「これ、もしかしたらクリアの可能性が・・・・！？」

ゆり

「でも、まだ油断しては・・・・」

シャリオ

「そうでしたよね・・・・」

まだ、安心は出来ない・・・・。

目の数字は3。ハンターボックス3マス前進・・・・
クリアまで残り15マス・・・・。

3番田は、レッド・・・・。

ポケモンマスターの少年が、ここに立つ・・・・。

マリオ

「頑張れよ・・・！せめて良い数字出してくれ！」

レジド

「俺も、それを狙つてる所だ！」

ヴィータ

「お前でここから、それもおまかづ……」

「お前酷いな・・・」

くるみ

「さあ、早く投げて！」

レッスン

ああ、わねやいなー・・・・・

レッドは2人の発言をうるさがる。

オリマー

「繫張せよ」・・・・・

シャ
マル

「さあ、投げて・・・！！」

レジ
ト

「絶対に出ないぞ・・・！！」

くるみ

「祈つてゐし……」

レッドはサイコロを構える。

レッド

「おらあ！」 ポイツ

ガランガラン、ゴロゴロ・・・。

ドンキー

「良い数字は・・・出るか？」

シグナム

「あたし達だつて緊張する・・・・・・」

ウォッヂ

「早ク止マリマセソカナ・・・・・？」

サイコロが、止まつた・・・。

出した目は、『6』だ・・・。

レッド

「凄い良い数字が出たぜ・・・・・・」

レッド クリア

ヴィータ

「いい加減誰かハズレ引けよ！」

くるみ

「さうよー早く出して欲しい・・・!」

レッド

「お前等…………！」

「まあまあ、抑えて杜け……」

シリオ

怒り出す。・・・!」

2人はレッドを抑える。

七
二

「まあ、そりだよな・・・・怒つても意味が無いし・・・・」

レッドは怒りを抑えた。・・・。

目の数字は6。ハンター ボックス6マス前進・・・。
クリアまで残り9マス・・・。

4番目は、オーマー・・・。

オリマー

「うわあ、この前には立ちたくありません……！」

ベテラン宇宙飛行士が、じりじり立つ……。

くるみ

「もういいわ！あんたで出して捕まつちやいなやこ……！」

ヴィータ

「やうだよ……早く出せ……！」

オリマー

「貴方達、そろひて酷いですね……！
兎に角、投げますよ……！」

シャリオ

「オリマーさんの言つ通りです……！」

オリマーはサイコロを構える。

オリマー

「まじっ……」

ポイツ

ガランガラン、ガロガロ……。

クロノ

「ハンターの田は絶対に出るな……！」

マリオ

「頼む！良い数字が出てくれ……！」

ゆり

「ひつなつたら祈るしか無いわね……！」

サイコロが、止まつた……。

出た目は、『2』だ……。

オリマー

「数字は低かつたけどクリア出来ました……！」

オリマー クリア

マリオ

「2だけ出なくて良かつた……！」

くるみ

「何よ……全然進んでないじゃない」

オリマー

「運任せ何だからしょうがないじゃないですか……！」

オリマーは怒り気味……。

目の数字は2。ハンター ボックス2マス前進……
クリアまで残り7マス……。

カービィ

「うわあ、凄い近づいた・・・！」

クロノ

「これでハンター放出したら恐ろしい事になるな・・・！」

果たして、このオープニングゲームを、クリア出来るのか・・・？

オープニングゲーム（後書き）

果たして、このオープニングゲームを、クリア出来るのか・・・？

続きを読む&ゲームスタート（前書き）

オープニングゲームは、まだ、終わらない・・・。

続きを読む&ゲームスタート

5番田は、シグナム・・・。

シグナム

「来たな・・・!」

ヴォルケンリッターの将、立つ・・・。

くるみ

「あんたでいいから、早く出しなやこー!」

ヴィータ

「出をねえと始まんねえしね・・・!」

シグナム

「お前等・・・」

シグナムは渋々と前に立つ・・・。

マリオ

「良い数字取つてくれよ!」

シグナム

「ああ・・・!」

シグナムはサイコロを構える。

シグナム

「せこひー」 ポイッ

ガランガラン、 パロパロ・・・。

えりか

「多分田へへる・・・!ニヤ、 それともない・・・?」

デンキー

「わからねえよ、 そんな事・・・!」

シャマル

「マジで緊張する・・・!」

トウーン

「早くサイロロ止まれ・・・!」

サイロロが、 止まった・・・。

出た田は、『3』だ・・・。

「シグナムサン、ヤリマスネ」

シグナム

「出た目が3だからな・・・」

ヨツシー

「次4出たらクリアになりますよ・・・」

えりか

「クリアまで後4マス・・・!」

目の数字は3。ハンターボックス3マス前進・・・クリアまで残り4マス・・・。

ピット

「そろそろクリアに近い・・・!」

ゆり

「次4出したらクリアだわ・・・!」

6番目は、来海えりか・・・。

えりか

「とうとうひたちの出番か・・・」

プリキュアメンバー、再び立つ・・・。

ヴィータ

「お前でここからやつをとれやー。」

ぐるみ

「あんたでいいから、早く出しなやこよー。」

えりか

「こんな所で出したまいか・・・。」

ピット

「そんなに怒らなくとも・・・。」

えりかはサイドロを構える。

えりか

「それつー。」 ポイッ

ガランガラン、ガロガロ・・・。

シャリオ

「クリアを望みます・・・。」

ドンキー

「4・・・-!4・・・-!」

シャマル

「4が絶対に出ます様に・・・。」

サイコロが、止まつた・・・。

出た皿は・・・。

♪ 1 3 5 7 7 8 — 4 2 6 0 ♪

ブショー！――！――！

全員

「うわあああああ～！」

ゲーム、スタート・・・。

全員は一目散に逃げる。

4体のハンターの標的は・・・。

えりか

「うわあ～！？」

来海えりかだ・・・。

えりか

「ハズレ出して、こんなのが無いよ～！――！」

えりかはそのままずっと逃げる。

しかしハンターとの距離がだんだん縮んで行き、最早、逃走不可能・

・・。

えりか

「にやあ～！」

ポンッ

× 3 5 7 8 0 — 4 2 6 0 ×

えりか

「もう、悔しいよ～・・・・！何であたしがオープニングゲームの犠牲者にならなきゃなんないの・・・・！」

来海えりか、早くも元気で散る・・・。

ブルルル

シャマル

「まさか・・・『来海えりか確保』！？」

祈里

「うわあ、えりかちゃん捕まっちゃったよー。」

トウーン

「まあ、あいつ捕まらしきだつたけど・・・・・

ヴィータ

「あたしの予想は当たつたな・・・・・

ミッキー

「何て事をしてくれたんですか、えりかさんは・・・！」

ハンターから逃げた時間に応じて賞金を獲得出来る、それが・・・

run for money 逃走中

舞台は『ローゼンガーデン』。

そう、ここは静かなる大きな庭。

更にこの庭には大きな王国が立っている・・・。

ゲーム時間90分間での逃走劇が上げられる。

賞金は108万円。

また、更に、自首も出来る。

自首は、各エリアの電話ボックスで自首を報告すれば

それまでの時点での賞金を獲得できる。

各エリアは

『ウォーターガーデン』、『ゴールドガーデン』、『スターガーデン』、
『ブルーガーデン』、『スカーレットガーデン』、『ストロベリー
ガーデン』、
『スノーガーデン』、『クリスタルガーデン』の8つのエリア。
逃走者達は、この8つのエリアで逃げ回る！・！

アルル

「うわあ、本当に静かなる庭だ・・・」

エリアを下見する、アルル・ナジヤ・・・。

響

「ついに来た、逃走中・・・！逃げ切つて見せるんだから・・・！」

自信をつけている、北条響・・・。

シェゾ

「建物内には進入禁止か・・・。まあしあうがないよな」

隠れ場所を探す、シェゾ・ウイグライ・・・。

シャリオ

「逃走中初参戦の私・・・。緊張します！！！」

逃走中初参戦となる、シャリオ・フィニーノ・・・。
果たして、逃走成功なるか。

クロノ

「逃走中つてのは・・・凄い緊張するだけでなく、
運も必要だと思つ」

運任せにしている、クロノ・ハラオウン・・・。

くるみ

「絶対に動きたくないわ・・・！」

ミッシュョンを人任せの、美々野ぐるみ……。
彼女が、どうゲームに影響するのか。

ヴィータ

「ああ～、めんどっち……」

こちらも絶対に動かない、ヴィータ……。
彼女も、動く気は無い様だ……。

ひかり

「いっちこも、ハンターいる……！」

逃走中初参戦となる、九条ひかりはすぐ近くの草原に身を隠す。

ひかり

「どうしよう……！」

トウーン

「ん？ あれはピットか……」

トウーンは早く身を隠す。

トウーン

「あいつ走ってるし……。

もしかしたらハンターに追われるかもれないしな……」

ピット

「ん？ 自首ボックスか……」

ピット、自首ボックスを発見・・・。

ピット

・・・いや！自首はしない・・・！今回の逃走中でも長く生き残つて見せるんだ・・・！」

しかし、彼の近くに、ハンター……。

✓ 35781
— 4260 ✓

「自首したら好感度下がるからね……ってハンター！？」

ハンター

見つかつた・・・。

ピット

「うわー！早いよー！ー」

一目散に逃げるピット。

しかしハンターとの距離がどんどん縮んで行く為撒き切れる訳が無

最早、逃走不可能 · · ·

ピット

「あああ～！！」ポンッ

4260 V 827531.5

ピット

「うわあ～・・・！－！2番田に確保されちやつたよ・・・－！
最悪だ・・・！－！」

天使、早くもここに散る・・・。

プルルルル

シャリオ

「何・・・？『スター・ガーデンの公園にてピット確保
うわあ、ピットさん早すぎますよ・・・！－』

アルル

「開始早々一人もやられてるよ・・・－！」

レッド

「もう20人かよ・・・－？」

くるみ

「結局は動いたら絶対に捕まるのよ・・・－！」

ヴィータ

「あいつ・・・動くとかバカだよなコイツ・・・－！」

残る逃走者は、

響、くるみ、ひかり、ゆり、祈里、クロノ、シャリオ、マリオ、オ
リマー、レッド、
アルル、シェゾ、トウーン、カービィ、ドンキー、ウォッチ、ヨッ
シー、シグナム、

ヴィータ、シャマルの20人・・・。

その時、ローゼンガーデン城にて重大な事が起こった・・・！

続き&ゲームスタート（後書き）

残る逃走者は、
響、くるみ、ひかり、ゆり、祈里、クロノ、シャリオ、マリオ、オ
リマー、
レッド、アルル、シェゾ、トゥーン、カービィ、ドンキー、ウォッ
チ、ヨッシー、シグナム、ヴィータ、シャマルの20人・・・。
その時、ローゼンガーデン城にて重大な事が起こった・・・！

//シシヨン-1発動-（前書き）

最初の//シシヨンが、ついに発動・・・・・！

//ミショソン1発動！

とあるローゼンガーデン城にて・・・。

王子の部屋にて・・・。

王子（役・桜田ジュン）

「真紅達はまだなのか・・・？」

王子は自分の部屋を左右にうろつきながら待つ・・・。

王子（役・桜田ジュン）

「あの放火事件の犯人は見つかったのか・・・？」

その時、謎のベルの音が聞こえた・・・。

（ゴーン、ゴーン！――）

王子（役・桜田ジュン）

「なつ！？何だ！？」

王子は一刻も早く外に出た・・・。

スカーレットガーデンにて・・・。

王女（役・真紅）

「反抗はお止めください！」

（紅）

住民全員

「何だ何だ！？何でここは封鎖するんだ！？」

住民A

「これじゃ十分に歩けねえじゃねえか！」

住民B

「封鎖を解除してくれ！！」

王女（役・真紅）

「いや、これは深い訳が……」

その時、王子がやつて來た……。

王子（役・桜田ジュン）

「真紅！…どうしたんだ！？」

王女（役・真紅）

「ジュン…………」の街にはある指名手配がいて……。

王子（役・桜田ジュン）

「指名手配…………？」

王女はその指名手配の紙を見せた……。

紙には、逃走者達の名前と顔が記入されていた……。

王子（役・桜田ジュン）

「それは……放火事件で疑われる奴等じゃないか！」

王子（役・桜田ジュン）

王女（役・真紅）

「・・・（ドクッ」

王子（役・桜田ジュー）

「・・・！？そのドクロのマークは・・・」

このドクロのマークが、このゲームに影響する・・・。

プルルルル

ドンキー

「こんな時にメール・・・？しかまつるせえし・・・！」

『ミッショーン』！？早速だ・・・！

くるみ

『スカーレットガーデン付近にて王女達が揉め事をしている』

クロノ

『更に君達逃走者達は放火事件の指名手配となつてて』

オリマー

『その疑いを晴らすには残り70分までに王女達に右腕を見せ』

響

『濡れ衣を晴らさなければならぬ、そもそもないと強制失格となる
うわあ、とても厄介なミッションが早くも来ちゃったよ・・・！』

！』

マリオ

「『また、住民は逃走者達を見つけると大声で騒ぐ』

『ちょつ、これはヤバイって！』

MISSION? 濡れ衣を晴らせ!

スカーレットガーデン付近にて王女達が揉め事をしている。
更に君達逃走者達は放火事件の指名手配となっている。
その疑いを晴らすには残り70分までに王女達に右腕を見せ、
濡れ衣を晴らさなければならない。

さもないと、強制失格となる！

また、住民は逃走者達を見つけると大声で騒ぐ。

響

「強制失格・・・・? これは早く行かないと・・・・」

ドンキー

「マジかよ・・・・! 俺等疑われてんのかよ・・・・?」

ぐるみ

「嫌よ! 動くなんて自殺行為と同じよ!」

ヴィータ

「誰が行くかよ! リッシュ・ジョンやつて捕まつてろ!」

オリマー

「行くしか無いでしょう、ここは…………」

シェゾ

「選択肢は一つ!成功させる…………」

マリオ

「しかも見かけられたら大声で騒がれるし……大変だ!……」

まさかの大ミッショングに驚く、逃走者達……。

住民A

「あつ、放火犯だ! ! !」

住民B

「俺達を迷惑かけるなー! ! !」

マリオ

「おいー! ?俺等何もしてねえって…………」

ドンキー

「おうわ、ここにもいるじー! ! !」

シグナム

「囮まれている…………お前達ーここから抜けるぞ! ! !」

2人はシグナムの言う通り、住民の人ごみから何とか抜けた…………。

住民C

「あつ、またいるぞ！」

ひかり

「だから私は放火犯じゃ……ってハンター！？」

> 135789 — 4260 <

ハンター

「！」

見つかった……。

ひかり

「つてキヤー！！！」

ひかりは一目散に逃げる。

しかし至近距離で見つかった為、最早、逃走不可能……。

ひかり

「イヤー！！」 ポンッ

> 135790 — 4260 <

ひかり

「こ、こんな筈じゃないのに……！」

プリキュアメンバーの一人、早くも2人目がここに散る……。

プルルルル

ドンキー

「だから何・・・・・?』住民に騒がれ九条ひかり確保』!-?.

シャマル

「ああ、ひかづさんが・・・・!」

くるみ

「やつぱり一動いたりじつなる運命なのよ!」

ヴィータ

「あいつ始めから捕まってるつて・・・しかも住民に・・・・・・バカだな、やつぱり・・・・!」

マリオ

「もう残り19人かよ・・・・!」

王女達の方に向かうカービイ達・・・・

カービイ

「うわあ、ハンターいるじ・・・・あつ、向こう行つてくれた・・・・!」

よし、今の内だ・・・・!」

カービイはすぐ王女達の方に向かう・・・・。

カービィ

「あれ？ 王女達が2人でいるし・・・」

揉め事が終わり、あの2人だけになつてゐる・・・。

カービィ

「ちょっと、そこへ近づいたの？」

王子（役・桜田ジュン）

「なつ！？誰だ！」

王子は咄嗟にカービィの方に振り向く。

カービィ

「あわわ、僕達は放火犯じゃないよ〜！」

王女（役・真紅）

「あつ・・・この子、指名手配の・・・ドクロの刺青ある〜。」

カービィ

「刺青？無いよ〜・・・」

カービィは右腕を見せる。

王女（役・真紅）

「・・・見た所、刺青は無いわ。指名手配から外すわ

カービィ

「やつた！ありがとうございます〜。」

カービィ ミッションクリア

カービィ

「これで濡れ衣は晴らせたよ～・・・」

カービィは大喜びする・・・。

レッド

「カービィ！？お前、右腕見せたか？」

カービィ

「見せたよ？レッドも早く見せた方が・・・」

レッド

「勿論だよ・・・！」

レッドは走りで王女達の元に向かう・・・。

王女（役：真紅）

「あれ？貴方は・・・放火犯として疑われてる・・・」

レッド

「だから俺等は放火犯じゃないんだって・・・信じてくれよ・・・

！」

王子（役・桜田ジュン）

「・・・なら右腕を見せるんだ」

レッド

「・・・おひ」

レッドは服の袖を捲くつ、右腕を見せる。

王女（役・真紅）

「刺青は・・・無いわ。」この紙から消しておくれわ

レッド

「良かつた・・・！」

レッド ミッションクリア

レッド

「よし、これで2人目だ・・・！」

ヴィータ

「強制失格になるのはあたしだつて嫌だけど動きたくないねえし・・・！」

そうだ、誰かに連れてつて貰おう・・・！」

ヴィータは携帯を出す。

プルルルル

トゥーン

「はい、もしもし？ 何だ、ヴィータか・・・何の用だ？」

ヴィータ

「今あたし、結構疲れてて動くの精一杯何だよ・・・！
だからあたしと一緒に王女達の所に連れて行ってくれ！」

トゥーン

「・・・で、場所はどこなんだ？」

ヴィータ

「スカーレットガーデンの近くだ。それより、
住民がすげえいるから動きにくいんだよ・・・！ だから
一刻も早くあたしの所まで来てくれ・・・！」

トゥーン

「自分の足で行けるじゃん、近いんだから・・・！」

ヴィータ

「ああもうーそんな事言つてねえで早く来い、ケチー！」

ピッ！

トゥーン

「でっ！ 何だアイツ・・・！？」

ヴィータ

「チツ、来てくれねえのかよ・・・・・！」

ヴィータは即電話を切つた。

クロノ

「住民に見つからずここまでたどり着いたぞ・・・・・！」

その時、アルルが通りかかった。

クロノ

「アルル？お前、右腕見せたか？」

アルル

「まだだけど、そっちは？」

クロノ

「まだだ・・・今から向かう所だ！」

アルル

「ボクだって、そうだよ！」

クロノ、アルルと合流・・・。

王女（役：真紅）

「？貴方達は・・・！」

アルル

「ボク達は放火犯じゃないよ・・・!」

王子（役・桜田ジュン）

「本当か?なら右腕を見せるんだ」

クロノ

「ああ・・・」

2人は服の袖を捲くり、右腕を見せる。

王女（役・真紅）

「・・・刺青は無いね。指名手配の紙から消しておくれ

アルル

「ありがとうございます・・・!」

クロノ

「助かった・・・!」

アルル・ナジヤ、クロノ・ハラオウン ミッションクリア

アルル
「ふ、これで疑われなくなつた・・・!」

クロノ

「他の奴等はまだ来てねえのか・・・!？」

疑いを晴らせた者は、

カービィ、レッド、クロノ、アルルの4人・・・。

まだ疑いを晴らせていない者は、

響、くるみ、ゆり、祈里、シャリオ、マリオ、オリマー、シェゾ、
トゥーン、
ドンキー、ウォッチ、ヨッシー、シグナム、ヴィータ、シャマルの
15人・・・。

果たして、全員、疑いを晴らせれるのか!?

//ミショソン1発動！（後書き）

疑いを晴らせた者は、

カービィ、レッド、クロノ、アルルの4人・・・。

まだ疑いを晴らせていない者は、

響、くるみ、ゆり、祈里、シャリオ、マリオ、オリマー、シェゾ、
トゥーン、
ドンキー、ウォッチ、ヨッシー、シグナム、ヴィータ、シャマルの
15人・・・。

果たして、全員、疑いを晴らせれるのか！？

疑いを晴らせー（前書き）

指名手配されている逃走者達・・・。

果たして、逃走者達は、濡れ衣を晴らせるのか！？

疑いを晴らせ！

カービィ

「実はあの指名手配の紙、逃走者の体も書いてあつたんだよね・・・
これは早くみんなに連絡しないと・・・！」

カービィは携帯を用意する。

フルルルル

オリマー

「？何なんですか、一体・・・カービィさんからのメール？」

シャマル

「『指名手配の紙』には顔の体も書いてあって顔を隠しても疑わ
れるんだ！」

そ、そつだつたの・・・？」

ドンキー

「『だから、なるべく顔も体も見つからないように紙をつけて！』
勿論だぜ、カービィ・・・！」

くるみ

「何でそんな厄介な事が紙に書いてあるのよ・・・」

移動が困難な、逃走者達・・・。

牢獄DEトーク

えりか

「疑いを晴らす//シションか～・・・」

ピット

「早く疑いを晴らさないと、強制失格になっちゃうもんな・・・」

ひかり

「私なんか、騒がれて・・・」

えりか

「指名手配の紙には皆の体も書いてあるんでしょ～・・・？」

ピット

「顔を隠しても無駄つて訳か・・・」

ひかり

「これは本当に困難な//シションね・・・」

マリオ

「うわ、ここにも住民いるって・・・！
一体きっかけは何なんだよ・・・！？」

マリオ、住民に恐れて動けない・・・。

シャリオ

「ああ～、ハンターがまだ向こうに行かない・・・・早くどっか行って・・・・・！」

シャリオ、思う様に動けない・・・・。

シェゾ

「何で初っ端から俺等疑われるんだよ・・・・・？どう考へてもおかしいだろ！？」

初っ端から疑われる事を、疑問に思つてゐる・・・・。

シグナム

「？お前達は・・・・？」

シグナム、王女達の所に着いた・・・・。

王女（役・真紅）

「あら？ 貴方は疑われてる・・・・」

シグナム

「あたしは放火犯じゃない・・・・！ 信じてくれー！」

王子（役・桜田ジュン）

「それなら、右腕を見せるんだ」

シグナム

「ああ・・・・」

シグナムは服の袖を捲くり、右腕を見せる。

王女

「・・・刺青は無いわね。指名手配の紙から消しておくれ」

シグナム

「忝い・・・!」

シグナム ミッションクリア

シグナム

「他の奴等もクリアしてると良いんだが・・・!」

その時、少女がシグナムの方に向かって來た・・・。

響

「シグナムさん・・・?」

北条響だ・・・。

シグナム

「響・・・! お前、右腕見せたか?」

響

「いえ、これから向かう所です・・・!」

シグナム

「さうか・・・すぐ近くだから落ち着いて行こひ

響

「はい・・・」

響、シグナムと一緒に王女達の方に向かつた・・・。

王女（役：真紅）

「？貴方は・・・？」

響

「響です。放火犯じやありませんよ・・・！」

王子（役：桜田ジュン）

「それなら、右腕を見せろ」

響

「はい」

響は服の袖を捲くり、右腕を見せる。

王女（役：真紅）

「・・・見た所刺青は無いわね。指名手配の紙から消しておくわ

響

「ありがとうございます！」

響

「シグナムさんのお陰で助かりました……ありがとうございました」

す

シグナム

「別に礼はいらぬが……とにかく用は済んだ事だし、急いでここから離れよう。」

響

「はーー。」

響、シグナムと合流……。

くるみ

「誰かにつれてつて貰おつかしく……」

くるみ、携帯を用意する……。

プルルルル

クロノ

「何だ……もしもしひ何だ、くるみからか……どうしたんだ？」

クロノにだ……。

くるみ

「あんた、右腕見せた・・・?」

クロノ

「見せたけど・・・それがビリしたんだ?」

くるみ

「なら、あたしをH女の所に連れて来てよ・・・!」

クロノ

「あ! ? ヴィータと同じ事言つてやがる・・・
で、場所はビリ辺だ・・・?」

くるみ

「場所はクリスタルガーデンよ・・・。
兎に角、早く来なさい!」

クロノ

「だが、皆の事も考えて行動を・・・」

くるみ

「ウダウダつるさこわね! 兔に角早く連れて来なさい! 」

ピッ! - !

クロノ

「何なんだくるみは・・・! ? 偉そうに言つてやがつて・・・! 」

クロノ、先ほどの電話で怒つていてる・・・。

くるみ

「何よ・・・あたしの言つ事が聞けないって訳!-?」

くるみも先ほどの電話で怒つてゐる・・・。

まるで、ヴィータが一人いるの様な感じだ・・・。

ヴィータ

「誰か来いよ・・・・・・・どいつもこいつも断りやがって・・・・・・・」

ヴィータは前にほぼ全員に電話を掛けたのだが、勿論全員に断られたのだ・・・。

ヴィータ

「先輩の言つ事が聞けねえって訳かよ・・・・・?」

そり、簡単に思つ通りには行かない・・・。

シェゾは王女達の元に着いた・・・。

シェゾ

「?お前ら・・・『ローゼンメイテン』の真紅と桜田ジュンか?」

王女(役・真紅)

「真紅・・・?あ、それより貴方、刺青はあるの?」

シェゾ

「俺は事件に関わつてねえって・・・・」

王子(役・桜田ジュン)

「なら右腕を見せろ」

シェゾ

「わかつたよ・・・」

シェゾは服の袖を捲くり、右腕を見せる。

王女（役：真紅）

「・・・刺青は無いわね。指名手配の紙から消しておくれ」

シェゾ

「当たり前だろ・・・！」

シェゾ・ウイグイイ ミッションクリア

その時、シャマルがシェゾの方に向かつて來た・・・

シェゾ

「？シャマル？お前、右腕見せたか？」。

シャマル

「まだ見せてませんよ・・・そちひりま？」

シェゾ

「俺はもう見せた・・・お前も早く王女達に右腕を見せて来るんだ・

・・・」

シャマル

「勿論です・・・！」

シャマル、王女達の元に着く・・・。

王女（役・真紅）

「貴方は・・・？放火事件で疑われてる・・・」

シャマル

「私は放火犯じゃありません・・・！」

王子（役・桜田ジュン）

「なら右腕を見せる」

シャマル

「はい・・・」

シャマルは服の袖を捲くり、右腕を見せる。

王女（役・真紅）

「・・・見た所刺青は無いわね。指名手配の紙から消しておくれ」

シャマル

「あっ、ありがとうございます・・・！」

シャマル ニッショングリリア

シャマル

「シェゾさんは、これからどうするつもりですか・・・?」

シェゾ

「俺は1人で行動する・・・

団体で行動したらハンターに見つかっちゃくなるからな・・・!」

シャマル

「そりなんですか・・・じゃあ

2人は別々に分かれて行動した・・・。

シェゾ

（疑いを晴らせてないのは誰だ・・・?まあ、それは考えない方がいいよな・・・）

疑いを晴らせた彼の近くに、ハンター・・・。

> 335808 — 4260 <

シェゾ

「突然前から来るわけ・・・ってハンター!?」

ハンター

「!

見つかった・・・。

シェゾ

「しかも、真正面から……前回の逃走中と同じ見つかり方じやねえか！！」

シェゾは一団散に逃げる。

しかし至近距離で見つかった為、最早、逃走不可能……。

シェゾ

「ぐわあ～！！」 ポンツ

♪ 35809 — 4260 ♪

シェゾ

「俺が……こんなに早く散るとは……！」

変態魔道士が、早くもここに散った……。

プルルルル

響

「なつ、何……!?』ローゼンブリッジにてシェゾ・ウイグイイ確保！？」

アルル

「ええ～！？捕まるの早いよ～！～！」

シャリオ

「あのシェゾさんが早く捕まるなんて、本当意外……！」

くるみ

「やつぱりね・・・動くから捕まるのよ、アイツ…！」

ヴィータ

「こいつバカだろ・・・動くから捕まりやすくなるんだよ・・・！」

疑いを晴らせた者は、

カービィ、レッド、クロノ、アルル、シグナム、響、シャマルの7人・・・。

まだ疑いを晴らせていない者は、
くるみ、ゆり、祈里、シャリオ、マリオ、オリマー、トゥーン、ドンキー、ウォッчи、
ミッキー、ヴィータの11人・・・。

果たして、このわずか7分で全員、疑いを晴らせるのか…？

疑いを晴らせー！（後書き）

疑いを晴らせた者は、
カービィ、レッド、クロノ、アルル、シグナム、響、シャマルの7人・・・。

まだ疑いを晴らせていない者は、
くるみ、ゆり、祈里、シャリオ、マリオ、オリマー、トゥーン、ドンキー、ウォッチ、
ヨッシー、ヴィータの11人・・・。

果たして、このわずか7分で全員、疑いを晴らせるのか！？

無実を証明せよ（前書き）

逃走者達は、疑いを晴らせれるのか！？

無実を証明せよ

王女の元に、シャリオが向かって来た。

シャリオ

「遅れちゃつた・・・！」

王女（役：真紅）

「あら？ 貴方は・・・？」

シャリオ

「私は放火犯ではありますん・・・！」

王子（役：桜田ジュン）

「なら右腕を見せろ！」

シャリオ

「はい・・・」

シャリオは服の袖を捲くり、右腕を見せる。

王女（役：真紅）

「・・・刺青は無いわね。指名手配の紙から消しておくわ」

シャリオ

「ありがとうございます・・・！」

シャリオ・ファイナー ミッションクリア

シャリオ

「残るは10人ぐらいですね・・・！」

そこに、マリオが遅れて到着・・・。

マリオ

「よし・・・あつ、シャリオ？お前、右腕見せたのか？」

シャリオ

「はい・・・マリオさんも早く・・・！」

マリオ

「当たり前だぜ・・・！」

マリオは王女達の元に到着・・・。

王女（役：真紅）

「あら？貴方は・・・？」

マリオ

「それよりも、俺は放火犯じゃない！」

王子（役：桜田ジュン）

「それなら右腕を見せろ」

マリオ

「わかつたよ・・・・・！」

マリオは服の袖を捲くり、右腕を見せる。

王女（役：真紅）

「・・・刺青は無いわね。指名手配の紙から消しておくわ」

マリオ

「勿論だろ・・・・！」

マリオ ミッションクリア

マリオ

「シャリオ・・・・・！」からすぐ離れるぞーー！」

シャリオ

「あつ、はい・・・・！」

2人は別々に分かれて行動した・・・。

住民A

「あつ！放火犯だ！！」

住民B

「ひつとうえろーー！」

ウォッチ

「私ハ放火犯ジヤアリマセン！！」

ヨッシー

「だから、そんなに騒がないで下さい！！」

オリマー

「ま、待つて下さい！」

ハンター

「・・・」

運良く、ハンターに見つからなかつた様だ・・・。

ウォッチ

「危ナカツタデスネ）・・・」

オリマー

「早くここから離れましよう・・・！」

3人は別々に分かれて行動した・・・。

ウォッチ

「ウワツ！？ココニモハンターガイルジヤナイデスカ・・・！」

逃げ場が無い、ウォッチ・・・彼の近くに、ハンター・・・。

> 1 3 5 8 2 2 — 4 2 6 0 <

ウォッヂ

「シカモロコ」、行キ止マリダシ・・・・・

ハンター

「！」

見つかった・・・・。

ウォッヂ

「イッタン引キ返シマスカ・・・ツテハンター！？」

ウォッヂは一目散に逃げる。

しかし逃げた先が行き止まりな為、最早、逃走不可能・・・・。

ウォッヂ

「ビー！！」

ポンッ

> 1 3 5 8 2 3 — 4 2 6 0 <

ウォッヂ

「嘘デス～・・・！？」

最古のゲームキャラ、ここに散る・・・・。

プルルルル

マリオ

「何だ・・・?『路地裏にてMr.ゲーム&ウォッチ確保
俺等の先輩が・・・!』

シャリオ

「あのウォッチさんが・・・!?

ドンキー

「もう残り17人かよ・・・!?

くるみ

「この人・・・完全にバカね・・・!」

ヴィータ

「コイツ・・・ミッションやる奴は、こいつなる定めなんだよ・・・

!-!

オリマー

「ウォッちさん捕まつた・・・!-!あつ、あれは・・・?

オリマー、誰かを見かける・・・。

祈里

「オリマーさん・・・?」

山吹祈里だ・・・。

オリマー

「右腕見せましたか・・・?私はまだです」

祈里

「いらっしゃりもです……急いで向かいましょ！」

オリマー

「勿論です……！」

2人は王女の元に走った。

王女（役：真紅）

「あれ？貴方達は疑われてる……」

オリマー

「違うんです……！信じてください！」

王子（役：桜田ジュン）

「なら右腕を見せる」

祈里

「はあ……」

2人は服の袖を捲くり、右腕を見せる。

王女（役：真紅）

「……見た所刺青は無いわね。指名手配の紙から消しておくれ

祈里

「ありがとうございます……！」

オリマー

「良かつた・・・！」

山吹祈里、オリマー ミッションクリア

祈里

「ちょっと怠おましようつよ・・・ハンター来るかもしませんし」

オリマー

「そうでしたね・・・！」

オリマー、祈里と合流・・・。

牢獄DEトーキ

ウォッチ

「結構皆サンガクリアシテ来テマスネ」

シェゾ

「残るは17人か・・・何か早いな・・・」

ひかり

「クリアしてる人はこのボードによると、
『疑いを晴らせた者は、

カービィ、レッド、クロノ、アルル、シグナム、響、シャマル、

シャリオ、マリオ、
オリマー、祈里の11人。

まだ疑いを晴らせていない者は、
くるみ、ゆり、トゥーン、ドンキー、ヨッシー、ヴィータの6人
ですね・・・

えりか

「まだ6人もクリアしていないの・・・？」

ピット

「しかも残り3分ですよ・・・!?間に合つんですか・・・!?」

ひかり

「私達が出来る事は、祈るしかありませんね・・・!」

ウォッチ

「ソウデスヨネ・・・!」

牢獄の者達はクリアしてくれることを祈る・・・。

ドンキー

「おっしゃ、王女の所に着いた・・・!」

ドンキーも、王女の所に到着・・・。

王女（役：真紅）

「あれ？放火犯で疑われてる人・・・?」

ドンキー

「だから、俺等は放火犯じゃねえってのこ・・・・・・」

王子（役・桜田ジュー）

「なら、右腕を見せる」

ドンキー

「おひ・・・・・・」

ドンキーは右腕を見せる。

王女（役・真紅）

「・・・・刺青は無いわね。指名手配の紙から消しておくれ」

ドンキー

「当たり前だぜ・・・・・・」

ドンキー ロング ミッションクリア

ドンキー

「よつしや・・・・・・これで残るは5人だぜ・・・・・・」

その時、ミッシーとトゥーンとゆりが遅れてやつて来た・・・

ドンキー

「一気に3人も来たぜ・・・！」

ゆり

「『めんなさい、遅れて・・・！』

ヨッシー

「早く王女の所に向かいましょ！」

トウーン

「あの2人はまだ来てない様だけどな・・・！」

ドンキーは3人を王女達の元に案内する。

王女（役・真紅）

「一気に三人も・・・？あれ、貴方達は？」

ゆり

「早くして下さいよ・・・！」

王子（役・桜田ジュン）

「真紅をせかすな。落ち着け。まずは右腕を見せろ」

ゆり

「はい・・・」

3人は服の袖を捲くり（ヨッシー以外）、右腕を見せる。

王女（役・真紅）

「・・・見た所刺青は無いわね。指名手配の紙から消しておくわ」

トウーン

「勿論だぜ・・・・!」

ヨッシー、トウーンリンク、月影ゆり ミッシュョンクリア

ヨッシー

「すぐここから離れましょう・・・・!」

ヴィータ

「あたしらだけか、ミッシュョンクリアしてねえのは・・・・?」
「うなつたら、自力で行くしかねえのか・・・・!?」

くるみ

「ああ~、誰も来ないなんて・・・・!~どうかしてるよ!~」

まだ疑いを晴らしていない者は、
くるみ、ヴィータの2人・・・。

果たして、彼女達は疑いを晴らせれるのか!?

無実を証明せよ（後書き）

まだ疑いを晴らしていない者は、
くるみ、ヴィータの2人・・・。
果たして、彼女達は疑いを晴らせれるのか！？

〃シショーンー終マーしかし……。（前書き）

まだ疑いを晴らしていない者は、
くるみ、ヴィータの2人のみ……。

果たして、この彼女等の運命は……？

//シショノ1終ア！しかし・・・。

> . 1 3 5 8 2 7 — 4 2 6 0 <

くるみ

「冗談じやないわ・・・！残り1分！？」

実は少しずつ移動している、くるみ・・・。

ヴィータ

「ああっ、くそつ！自力で向かうしか・・・！」

2人はとうとう動き始めた・・・。

だが、彼女等の近くに、ハンター・・・。

ハンター

「・・・」

しかし、ハンターは、まだ気づいていない・・・。

ヴィータ

「よつしゃ・・・！見逃してやがる！住民も今ん所いねえしな・・・！」

くるみ

「今之内に行きましょう・・・！」

2人は王女の元に向かつた・・・。

牢獄D Eトーク

ウォツチ

「結局残ツタノハアノ2人デスカ・・・」

ウォツチはあのボード眺めている・・・。

ひかり

「もう残り1分でしょ？多分クリア出来るわけ無いって・・・」

シェゾ

「おいおい・・・あの2人は強制失格決定か・・・？」

呑気に雑談していた・・・。

その頃、王女達は・・・。

王女（役：真紅）

「そういえば、『水銀燈』『金糸雀』『翠星石』
『蒼星石』『雛莓』『雪華綺晶』
『薔薇水晶』はどこをほつつき歩いてるのかしり？」

王子（役：桜田ジュン）

「まだ分からぬよ・・・あつ、誰か来たぞ」

くるみ

「遅れたし・・・・・！」

ヴィータ

「あたしらだ〜！！」

美々野くるみとヴィータだ・・・。

王女（役：真紅）

「貴方達は？」

くるみ

「それよりも、あたし達は放火犯じゃないって事を・・・・・！」

ヴィータ

「早くしてくれよ・・・・・！」

王子（役：桜田ジュン）

「真紅をせかすな。まずは右腕を見せろ」

くるみ

「わかつたわよ・・・・・！」

ヴィータ

「これでいいだろ・・・・・？」

2人は右腕を見せる。

王女（役：真紅）

「・・・・・刺青は無いわね。指名手配の紙から消しておくれ

くるみ

「当たり前でしょ・・・・・！」

美々野くるみ、ヴィータ ミッションクリア

くるみ

「わあ、わざわざここから離れるわよー！」

ヴィータ

「当たり前だ・・・・・！」

> 35828-4260 <

プルルルル

ドンキー

「何々・・・『全員の疑いが晴れ、ミッションクリア』」

響

「『更に、住民からも騒がれなくなった』良かつた・・・・・！」

シグナム

「強制失格者はいなかつたか・・・安心した」

ミッショングクリアに安心する、逃走者達・・・。

牢獄DEトーク

シエゾ

「どうやら酷クリアした様だな」

えりか

「放火事件で噂になつていいる様だね」

ひかり

「まさか逃走者達が疑われるとは・・・」

ウォッヂ

「ソレヨリモ、何力変ナ臭イシマセンカ・・・?」

ピット

「・・・あつ、ハンターいる・・・!」

ヨッキー

「あつ、ハンターいる・・・!」

ヨッキーは近くの草原に隠れやり過ごす・・・。

シャマル

「4体のハンターはとても厳しいわね・・・！」

くるみ

「動いたら行けないみたいね・・・」

ヴィータ

「動かない方が、勝ちつて訳だ・・・！」

その頃、蒼星石は・・・。

兵士1（役：蒼星石）

「そろそろ夜が明けますね・・・」

蒼星石は放火事件の犯人を捜していた・・・。

兵士1（役：蒼星石）

「・・・ん？何ですかこの臭いは・・・？」

蒼星石はその臭いをたどる。その先には・・・。

兵士1（役：蒼星石）

「・・・！？何なんですか、あれは・・・！？」

蒼星石は火災現場を発見する・・・。

兵士1（役：蒼星石）

「放火事件が起きてます・・・！」誰かに助けを呼ばないと・・・！」

蒼星石は困り果てる・・・。

兵士1（役：蒼星石）

「水を放つ能力を持つてるけど・・・。
誰でも良いから一人でもいないと能力を發揮出来ません・・・！」

偶然、ブルーガーデンには蒼星石ただ一人になつている・・・。

火災現場の中には・・・。

ハンター

「・・・」

ボックスの中にハンターが3体凍結していた・・・。

ブルルルル

ヨツシー

「うわっ！？いきなり鳴らないで下さいよ・・・！」

クロノ

「『ブルーガーデンにて放火事件が発生した
ほ、放火事件！？』

アルル

「『残り50分までに蒼星石と合わせ水の能力を発揮しないと』」

シャリオ

「『3体のハンターが解き放たれる』今度はハンター放出・・・・・？」

MISSION? ハンター放出を阻止せよ・

ブルーガーデンにて放火事件が発生した。

残り50分までに蒼星石と合わせ水の能力を発揮しないと、3体のハンターが解き放たれる!

オリマー

「3体放出・・・合計7体になるつて事ですか!-?」

マリオ

「これは危ねえミッショングだな・・・-!」

ただし、エリアには4体のハンター・・・・。
動けば、捕まるリスクが高まる・・・-!!

残る逃走者は、

響、くるみ、ゆり、祈里、クロノ、シャリオ、マリオ、オリマー、

レッド、アルル、
トゥーン、カービィ、ドンキー、ヨッシー、シグナム、ヴィータ、
シャマルの17人・・・。

果たして、ハンター放出を阻止出来るのか！？

〃シショーンー終アー!しかし……。(後書き)

残る逃走者は、
響、くるみ、ゆり、祈里、クロノ、シャリオ、マリオ、オリマー、
レッド、
アルル、トゥーン、カービィ、ドンキー、ヨッシー、シグナム、ヴ
ィータ、
シャマルの17人……。

果たして、ハンター放出を阻止出来るのか!?

ハンター放出を阻止せよー！（前書き）

逃走者達はハンター放出を、阻止出来るのかー！？

ハンター放出を阻止せよ！

オリマー

「行きますか・・・」

シグナム

「いったい何人分の力がいるのは分からぬが、とにかく行ってみる！」

マリオ

「ここは任せた・・・！」

ドンキー

「ここは行かない・・・」

アルル

「どうしよう・・・行こうかな？」

祈里

「行くしかありません・・・！」

シャリオ

「ここは様子を見ましょう・・・安全だつたら行きます

くるみ

「あたしは絶対にやらないわよー動いたら捕まるの確定してんもん

！！」

ヴィータ

「//シション！？行く訳ねえじゃんー//シションやる奴はひとつと
捕まつてろーー！」

行く人もいれば、行かない人もいる・・・。

オリマー

「ここはクリスタルガーデンに入る橋ですね・・・
ハンターは・・・いませんね」

オリマーは周りを見て行動する・・・。

シャリオ

「まだ誰も捕まつませんね・・・」

シャリオはまだ状況を見ている・・・。

レッド

「俺は今回行かないかな・・・？
だつて、ハンターに見つかりやすくなるんだろ・・・？」

慎重派の、レッド・・・。

シャマル

「うわっ！？ここにもハンターがいます・・・！？
全く、ハンターは神出鬼没ですね・・・！」

シャマル、ハンターに怯えて上手く動けない・・・。

牢獄DEトーク

ピット

「今度は火を消すミッションか・・・」

シェゾ

「いつたい何人分の力がいるんだ・・・?」

ひかり

「わかんないですよ、そこまでは・・・」

えりか

「うわあ～・・・ハンター放出しないで～・・・」

ウォッヂ

「ヴィータサントクルミサンハ絶対ニ動ク氣ハ無サソウテスカラ
事実上15人デ挑ム事ニナルノデハ・・・?」

シェゾ

「正直あいつ等には期待出来ねえな・・・」

オリマー

「ここいら辺のはずなんだけどな・・・」

油断してる彼の近くに、ハンター・・・。

ベテランの宇宙飛行士、つっこむてお散る・・・。

オリマー

「あれ～？おかしいな・・・。」

迷ってしまった、オリマー・・・。

彼はまだ、ハンターに気づいていない・・・。

ハンター

「！」

見つかった・・・。

オリマー

「多分・・・ってハンター！？」

オリマーは一目散に逃げる。

しかし彼がハンターの足に適う訳が無い。最早、逃走不可能・・・。

オリマー

「ひいやあ～！」 ポンッ

ベテランの宇宙飛行士、つっこむてお散る・・・。

オリマー

「最悪だ～・・・。」

ベテランの宇宙飛行士、つっこむてお散る・・・。

プルルルル

マリオ

「ハンターに見つかることで……！」

『ブルーガーデン湖付近にてオリマー確保』

嘘だろ！？

祈里

「うわあ、オリマーさん捕まっちゃった……！」

ヨッシー

「残るは16人です……！」

ぐるみ

「ほらね！結局は捕まる運命なのよ……！」

ヴィータ

「コイツバカだ……ミッションに動くからそつなるんだよ……！」

シャリオ

「一人捕まつた……どうしよう……」

ミッションに行くか行かないか、迷っている様だ……。

響

「行こう・・・・・ハンターに怯えててもしょうがなによ・・・・・！」

響、当たつて碎ける氣で行く様だ・・・・。

レッド

「…? あれハンターじゃねえのか・・・・! ?」

レッドはすぐに身を隠す。

ハンター

「・・・・」

しかし、ハンターは、まだ気づいていない・・・・。

レッド

「ハンターが存在してる事自体怖えよ・・・・!」

ヨッシー

「…! ほどうじょう・・・・ 一人捕まっちゃったんでしょ?」

ヨッシーはスノーガーデンで彷徨つている・・・・。

ヨッシー

「もしさまた誰か捕まつたら、行く氣失せますよ・・・・!」

彼は誰かが捕まる事を恐怖を覚える・・・・。

しかし、彼の近くに、ハンター・・・・。

♪ 3 5 8 3 5 — 4 2 6 0 ♪

ハンター

「—」

見つかった・・・。

ヨツシー

「なるべく姿を隠して移動し・・・つてハンター！？」

ヨツシーは一目散に逃げる。

しかし至近距離で見つかった為、最早、逃走不可能・・・。

ヨツシー

「やあやあ！！」　ポンッ

♪ 3 5 8 3 8 — 4 2 6 0 ♪

ヨツシー

「と言つてゐ私が捕まつた・・・最悪です・・・！」

大食い恐竜、またここに散る・・・。

プルルルル

クロノ

「何だ・・・！？」『ゴールドガーデンにてヨツシー確保』
あのヨツシーが・・・！」

アルル

「うわ、ヨッシーも捕まつたのー? ちと早過ぎないー?」

くるみ

「やつぱり捕まつたわね・・・動いたら負けなのよ・・・」

ヴィータ

「また捕まつたのかよ・・・本当バカだよなコイツ・・・」

まさかのミッキー確保に驚く、逃走者達・・・。

シャリオ

「もう2人も捕まつてる・・・もう行かない方がいいでしょう・・・」

シャリオはミッショングを諦めた・・・。

クロノ

「2人も捕まつたのかよ・・・? こはもう行かん・・・」

クロノも、ミッショングを諦めた・・・。

トウーン

「うわあ・・・? こは隠れるー!」

トウーンは近くの草原に身を隠す・・・。

アルル

「あれ？あの子、蒼星石じゃないの・・・？」

アルルはブルーガーデンに到着し、蒼星石と出会った・・・。

アルル

「どうしたの・・・？」

兵士1（役・蒼星石）

「もう人事じゃないんです・・・！力を貸してくださいー！」

アルル

「水の能力を発揮する為だね、分かった！」

兵士1（役・蒼星石）

「お願いしますー！」

アルルは蒼星石の近くに寄る。

兵士1（役・蒼星石）

「行くぞ！・・・つてあれ？」

蒼星石は水の能力を発揮しようとするが、何故か不発する・・・。

アルル

「えつ・・・？どうなってるのー？」

兵士1（役・蒼星石）

「しました・・・！これは5人いないと
発揮出来ない事を忘れてました・・・！」

アルル

「嘘でしょ・・・？これを早く皆に伝えないと・・・！」

アルルは携帯を取り出す。

プルルルル

ドンキー

「また確保情報とかじやないだろうな・・・つて、アルルからのメール？」

クロノ

「『蒼星石の力を發揮するには、後4人必要です！』えつ！？4人つて・・・」

ゆり

「『ボクは5人の内の一人です。誰でも良いので4人来て下さい！』メールはこれだけね・・・」

シグナム

「5人分の力が必要なのか・・・！？」

ヴィータ

「はあ！？厄介事が今知らされるのかよ・・・！？」

くるみ

「後4人・・・あたしは絶対に行かないけど・・・！」

牢獄D Eトーク

ヨツシー

「後4人が必要ですか・・・これは厳しい状態になつて来ましたね・・・」

オリマ一

「ヴィータさんとかくるみさんとかはあまり期待は出来ませんけど・・・」

シェゾ

「今ん所状況を見て人任せにしている奴等が多いよな・・・」

えりか

「誰かが行くつて思つてるんじゃない・・・?」

響

「あれつ?アルル?」

アルル

「響ちゃん!」

響は偶然アルルの近くにいた為、すぐに到着した・・・。

兵士1（役・蒼星石）

「響さん……？これで後3人です……！」

響

「三人……まだまだじゃない！？」

果たして、この鬼畜なミッションをクリア出来るのか！？

ハンター放出を阻止せよ！（後書き）

果たして、この鬼畜なミッションをクリア出来るのか！？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8541y/>

スマプラ×ゲームキャラ、アニメキャラ逃走中 『ローゼンガーデン編』

2011年11月26日20時46分発行